

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 25 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3871000224		
法人名	社会福祉法人 愛信会		
事業所名	グループホーム 森の園		
所在地	愛媛県伊予市森甲440-1 (電話) 089-982-7474		
管理者	柳澤 勘一郎		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 11 月 14 日	評価確定日	平成 20 年 12 月 26 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 10 月 25 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 5 月 2 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14 人, 非常勤 人, 常勤換算 14 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 10 月 25 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	5 名	要介護 2	4 名
要介護 3	8 名	要介護 4	名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 78 歳	最低 59 歳	最高 91 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは4階建の高齢者総合福祉施設の1階にあり、周囲には田園風景が広がるのどかな環境である。協力医療機関からの往診が毎週あり、また同施設内の看護師とは24時間体制で連絡をとることができ、健康面で安心な体制がある。施設内での連携を密にし、情報交換、協力体制が十分になされている。職員は、利用者で明るく優しく語りかけ、ホーム内は和やかな雰囲気がある。自治会に入会して積極的に地域交流に努めている。同施設内での行事に参加し、また1か月ごとに外出計画を立て、市の花火大会、地区の運動会、ぶどう狩り、芋炊きなどに出かけ、リラックスして楽しんでいる。更に中学生の体験学習やボランティアの訪問も受け入れている。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回評価にて、ホーム独自の理念を作成し、また地域との関わりを深めることについて課題とされたが、ホーム独自の理念を作成し、地域の自治会に入会して交流を更に密にし、利用者がより楽しい日々を過ごせるよう全職員で改善に取り組んでいる。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

自己評価は各ユニット代表者2名ずつが原案を作成し、ミーティング時に全員で検討して作成している。改善課題として「職員の休憩時間の取り方の工夫」など数点が上げられており、具体的な改善策に取り組むまでには至っていないが、ミーティング時に検討を続けている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

3か月に1度開催して意見や要望を十分聞き取るよう努め、わかりやすい会議録にまとめて日々のケアに活かしている。今後、さらに会議が有意義なものとなるよう、近隣の住民、警察署、消防署等にも出席を依頼してホームへの理解・協力を得られるような取り組みを工夫していくことを期待したい。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の来訪時には職員から声をかけ、要望や相談などを聞き取っている。ホーム内には相談箱を置き、またホーム内及び第三者機関の相談窓口を明示し、説明している。意見等があった場合は極力改善に努め、日々のケアの質向上につなげている。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

運営法人として自治会に入会しており、地方祭、夏祭り、運動会などの地域行事に参加し、また踊り、子ども太鼓、大正琴などのボランティアを受け入れている。幼稚園児の訪問、中学生の体験学習なども受け入れている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム森の園

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)  
氏名 柳澤 勘一郎

評価完了日 平成 20 年 10 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念を掲げている。施設全体の理念、ホーム独自のものがある。  (外部評価) 全職員が理念について検討し、管理者が集約して作成している。書類等に明示し、利用者及び家族にも説明している。玄関に理念を掲げており、職員は常に意識し、また来訪者にも理解を得ることができている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 施設全体の理念としては、朝礼や各会合にて皆で唱和することで意識しながら日々取り組んでいる。ホーム独自の理念としては、ホーム内に理念の掲示をしたり、記録等のファイルに修めるなどし、いつも目に付くことで、意識できるような体制をとっている。  (外部評価) 毎月の会議や日々の話し合いの際に理念を確認し合い、常に理念を振り返りながらケアに活かすよう努めている。	※	日々の業務の中で、常に、意識しながら取り組んでいる。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 見学や、入所の際には説明している。また、運営推進会議などを通じ取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣には民家が少ないが、散歩中に会ったり、洗濯物を干す際や、畑に出た際には、挨拶を交わしたり、畑作りなどのアドバイスを頂いたりしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 周辺地域の各保育所、幼稚園等を定期的に順番に訪問させていただいたり、地域での行事への参加に努めている。また、納涼祭をはじめとする施設行事へのお誘い、ホームへの訪問を積極的に行っている。  (外部評価) 運営法人として自治会に入会しており、地方祭には神輿が立ち寄ってくれ、夏祭りや地区の運動会にも参加しており、踊りや子ども太鼓、大正琴等、地域のボランティアなども受け入れている。また幼稚園児の訪問、中学生の体験学習なども受け入れている。	※	施設内行事を利用し、交流に努める。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 今の所、特にしておらず。	※	今後、行事に合わせて、施設内見学等の案内をしてみる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を行うことで、改善点がより発見しやすく、迅速に対応できている。  (外部評価) 自己評価は各ユニット代表者2名ずつが作成し、全員で検討して作成している。「職員の休憩時間の取り方の工夫」など、数点の課題が挙げられ、具体的な改善策に取り組むまでには至っていないが、ミーティング時に検討を続けている。前回の外部評価では「ホーム独自の理念の作成」と「自治会への入会」を課題として挙げられたが、改善に取り組んでいる。	※	自己評価の課題に関しては全職員が話し合い、改善に積極的に取り組み、サービスの質の確保に努めることが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 活動状況報告や、評価の結果、その後の取り組み等を説明し意見を頂いている。取り組めることは実施しサービスの向上に努めている。		開催日時の検討を行い、可能な限り参加人数が増えるよう努める。
			(外部評価) 3か月に1度開催して、意見を十分聞き取るよう努め、わかりやすい会議録にまとめて日々のケアの改善につなげるよう取り組んでいる。近隣住民の出席がなく、災害時の協力依頼などにもまだ十分な取り組みが行われていない。	※	さらに有意義な会議となるよう、近隣住民、警察、消防署等にも時折出席を依頼し、ホームへの理解を深め、協力体制を築いていく取り組みを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 伊予市グループホーム連絡協議会が定期的に行われており、管理者をはじめ、他職員も数名ではあるが、必ず参加し、意見交換を行っている。		
			(外部評価) 運営推進会議への出席依頼のために出向いた際に、市担当者に要望なども伝え、必要な情報交換を行っている。また、必要に応じて問題解決について話し合っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部の研修に参加し学ぶ機会は持っているが、今のところ当ホームでは、該当者がおらず、活用例はない。	※	職員の学ぶ機会を作り、必要時活用できるようにする。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部の研修に参加し、定期的に学びながら確認している。職員間で注意もしており、施設長よりいつもご指導いただいている。	※	学ぶ機会を作り、職員の意識を高めていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に書面に基づき口頭で説明を行い、理解していただいたうえで同意書をとっている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の方から情報を頂いたり、又、日々の利用者との会話の中でも、可能な限りそのような様子が見えた場合には、特に寄り添い傾聴するようにしている。カンファレンスはもちろんだが、適宜、職員との意思疎通を図り、利用者について理解を深めるように努めている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の面会時、病院受診の際などに、口頭、書面を通じて状況報告を行っております。又、緊急時などには、相談事を適宜、電話連絡にて行っている。  (外部評価) 総合福祉施設全体で「便り」を作成しており、その中でホームの様子を知らせている。生活状態に関しては家族の来訪時に説明したり、電話で連絡を取り合っている。金銭管理について、金銭出納簿は作成していないが、領収書を確認してもらうことで家族には了承を得ている。	※	金銭管理面に関しては、さらに家族との信頼関係を得るためにも、金銭出納簿を作成し、レシートを添えて家族の了承を得た上でサインをもらうなどの工夫を検討していくことを期待したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ホーム内でも受け付けているが、施設としても苦情窓口を設けている。  (外部評価) 家族の来訪時には声をかけ、要望や相談などを聞いている。相談箱を置き、またホーム内及び外部機関の相談窓口を明示し、説明している。	※	現在、直接受けた苦情については、その都度話し合いの場を設け、皆で解決するようにしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のミーティングや日々の業務の中で、意見や提案を聞く機会を設け、反映できるようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要時には、勤務の調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の変更時には、個々のかかわり方等引継ぎを行ったりし、利用者への負担、不安を与えないよう配慮している。又、施設内異動の際にはボランティアとして、2、3日ではあるが自身の休日を利用し、早く馴染めるように勤める傾向が施設としてある。  (外部評価) 離職者がある場合は職員同士でカバーしあい、利用者の戸惑いがないよう十分配慮している。新入職員がある場合は、利用者が職員に馴染めるまで重複勤務をするなど、ダメージが最小限になるよう工夫している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修等の情報は職員間で共有し、積極的に参加を促進している。  (外部評価) 法人内研修として感染症予防講習などに参加している。外部研修は、入浴、介護技術、認知症介護等の各研修を受講している。受講後は報告書をまとめ、ケアに活かせるよう工夫している。研修によってはミーティングで伝達講習している。	※	外部・内部研修を通し、知識・技術の向上を図る。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 伊予市グループホーム連絡協議会が定期的に行われており、管理者をはじめ、他職員も数名ではあるが、必ず参加し、意見交換を行っている。		
			(外部評価) 現在は同業者との実践的な交流や連携は十分行えているとは言えないが、今年4月までは市グループホーム連絡協議会に参加し、同業者との学習会や交流を行っている。	※	見学や、研修を通しての交流を積極的に行い、他のグループホームの実践や経験を日々のケアに活かしていく取り組みを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 勤務希望の受け入れや、無理のない勤務体制であり、相談しやすい雰囲気作りに努めている。	※	休憩時間の取り方の工夫をしていく
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 年に2回、職員個々で自己評価を行い、目標、実績等を話し合う機会がある。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用開始までに、当然であるが、本人にお会いし、お話を聞くようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ゆっくりお話する時間を作り、お話を聞くようにしている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 適切なサービスが受けられるよう、その時の状態の把握に努め、アドバイスするようにしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学に来て頂いたり、本人が納得できるよう、説明の工夫を行っている。  (外部評価) 入居希望者には家族に来訪してもらって本人の様子を聞き取り、ホームの生活の様子を具体的に説明するなどして、納得の上で入居してもらっている。入居後はホームの生活に徐々に慣れてもらえるよう、十分配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 希望や、趣向を敏感に感じ取れるように、ゆっくりと会話を交えながら、行事ごとはもちろん、日々の介護や生活を送って頂いている。  (外部評価) 生活機能に応じて食事の手伝い、洗濯物たたみ、畑仕事、掃除などを共に行い、多くの出番を設けて喜びを分かち合っている。また、過去の思い出話を聞いたり、料理の知恵などを教わっている。	※	一人ひとりの出来る事や本人の持っている力を引き出す働きかけを、継続して行っていく。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 少しの変化でも連絡するようにし、理解しやすいよう説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 定期的な機関紙の送付、年賀状等で近況報告したり、面会時にも同様に、新しい情報をご連絡している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご親戚やご兄弟の面会時等に、馴染みある方の情報が取れた場合には、年賀状、暑中見舞い等を出している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 相性やレベルに応じて座席を決めている。定期的な行事を通じて、全体的な交流も深めて頂いている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院時には、管理者を問わず、お見舞いに行かせて頂いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の生活の中で、希望を汲み取る努力をしている。又、本人本位で、サービス提供を極力するよう努力している。  (外部評価) 声かけを大切にしながら、本人の好みや希望の把握に努めている。本人の思いを把握することが困難な場合は、表情や行動から読み取ったり、家族から情報を得るなどして、本人の気持ちを大切にされた支援を行っている。	※	急がず、時間がかかっても、色々な場面で把握に努めていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時のアセスメントや、ご家族、利用者とのコミュニケーションを通じ、把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 些細な変化も見逃さないよう、記録を取り、ケアプラン等に活かしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) チームとして、ケアを行う上での課題を解決する為に、関わる職員、ご家族には、事前、事後になる際もあるが、意見交換を行い合意を得ている。  (外部評価) 利用者の日々の生活記録を参考に、全職員で生活の様子や健康状態を話し合い、家族の意見や要望なども取り入れ、さらに主治医とも相談しながら介護計画を作成している。入居の際には家族や本人の意見を聞き取り、1か月程度の暫定的な計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 計画に実施機関を明示して、その都度、見直しを行うことはもとより、状態の変化に応じた随時の見直しを図っている。  (外部評価) 家族や主治医と相談を行い、実情に応じたケアにつなげるよう、3か月に1度の見直しを行っている。また状況変化に応じて臨機応変に見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の介護や、介護計画に活かせるよう、個々の様子や変化を具体的に記録している。	※	今後のケアや介護計画に活かせるような記録になるよう心掛けていく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 入浴時のシャワーチェアやレクリエーションに使用するカラオケをはじめ、その他を共有し、看護師にも日々協力して頂いている。  (外部評価) 利用者の希望に応じて散歩や買い物、理美容、入浴の支援等を行い、葬儀にも付き添っている。地域や同法人内の行事などには、利用者の状況や希望に合わせて参加できるように、柔軟に支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者の生活や地域交流の広がりのために、周辺地域の各機関より協力を得られるよう働きかけを行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 退去希望時には支援をしているが、今のところ他ではない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議等で意見を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 心身の変化や異常発生時に、気楽に相談できる医療関係者を確保している。  (外部評価) 協力医療機関と連携を密に取り、適切な指示を得ている。また、協力医療機関から往診が毎週あり、毎年健康診断を受けるなど、健康面について十分配慮している。感染症予防委員会を設け、感染予防についても十分な対応をしている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の変化については専門医を受診できるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 施設内看護職員と連携を図り、日々の健康管理につなげている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 見舞いを含めた訪問で相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 方針は説明し、共有しているものの重度化した場合には他施設に移って頂いている。  (外部評価) 現在は看取りケアの必要な状況はないが、今後、看取りケアに取り組む場合の様々な問題点を十分話し合い、家族、職員、医師が検討して対応の共有を図っていく方針である。	※	入所時に方針は説明しているが、状態の変化に応じて早めに、ご家族・かかりつけ医師と話し合いを持つ。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) できるだけ住み慣れた環境で過ごしていただきたいと思うが、当施設でできる限界もあり、かかりつけ医と相談しながら支援している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退所時サマリーを作成すると共に、本人の個別性や注意点については、職員が直接申し送るようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個々の人格を尊重し、プライバシーに配慮した声かけや対応を行っている。記録等外部の方に見ていただく場合は、確認を取り、必要時には同意書を頂いている。  (外部評価) プライバシーの尊重については十分理解しており、利用者に対して、人生の先輩として言葉かけや支援にも尊敬の念をもって接している。職員全員が個人情報保護法の理解に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) コミュニケーションを通して、利用者個々の状態や思い、希望を理解し、自己決定を大切にしながら、分かる力に合わせた声かけや支援を行っている。	※	自分の意思を表現できる様に働きかけなどの工夫を行う。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの状態、状況、希望に合わせた支援を行うように努めている。  (外部評価) 入浴、散歩、畑仕事、体操、カラオケ、百人一首など、その日の一人ひとりの気持ちや体調に配慮しながら、柔軟に支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時には、声かけや介助によって整容や衣服選びを支援している。理容・美容については、施設に月2回来る理美容のサービスを利用している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) テーブル拭きや配膳、食後の食器洗い、拭きを手伝っていただいている。また、食事を楽しむことのできるよう、味付けや簡単な調理への参加やメニュー作りにも努めている。  (外部評価) 体調や力、希望に応じて準備や片づけなどを一緒に行っている。介助の必要な利用者には側に座り、語りかけながらゆったりとした気分で食べられるよう配慮している。利用者の状態によっては、刻み食やお粥を用意している。また、ホームの菜園で採れた野菜を調理することで、食卓は一層楽しみを増している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々の好みの把握に努め、状況に合わせた支援を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンの把握に努め、オムツ内への失禁を減らし、トイレでの排泄、自立に取り組んでいる。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) ある程度、入浴パターンが理解できており、希望、タイミングに合わせた支援を行っている。また、ゆっくり入浴できる環境づくりにも努めている。  (外部評価) 基本的に3日に1度の入浴支援を行っている。各人の希望する時間帯に応じて支援しており、毎日入浴を楽しんでいる方もいる。入浴を嫌がる利用者には言葉かけや対応を工夫しながら入浴を支援している。必要な利用者には足浴、清拭等も行っている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 本人の状態に応じて、適宜休息していただくよう支援している。また、安眠できるような言葉かけ、環境づくりに努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの能力にあった役割をしていただくよう努めている。その際、コミュニケーションを図り、楽しく行えるよう支援している。また、季節感のある行事や食事などで気晴らしや楽しみを持っていただいている。  (外部評価) 一人ひとりの好みや機能に応じて、食事の手伝い、洗濯物たたみ、掃除、畑仕事などの出番を多く提供し、やりがいと喜びを感じ取ってもらっている。またカラオケ、百人一首などの得意な方には特技を楽しんでもらっている。さらに利用者は施設内の行事にも参加して楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの金銭管理能力を把握し、管理が難しい方はホームで管理し、本人希望時に使用できるよう支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩の希望があれば一緒に行くようにしている。また、天候のよい日には、外でおやつを食べるなど外に出る機会も作るよう努めている。  (外部評価) なるべく散歩に出かける機会を多くもてるように配慮し、1か月ごとに外出計画を立て、市の花火大会、地区の運動会、ぶどう狩り、芋たき等に出かけ、外出先で一人ひとりリラックスしてもらい、楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 定期的な行事計画の中で、利用者の希望を汲み取り、外出時に取り入れている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば必ず支援し、以外においても必要と感じた場合には支援させて頂いている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも自由に来て頂けることを説明すると共に、訪問していただいた方には、希望の場所でゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) マニュアルを作成し、理解すると共に、会議等でカンファレンスを行いながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室については鍵を掛けることはなく、玄関の自動ドアにおいても日中は出入り自由とし、センサーのチャイムで出入りが分かるようにしている。  (外部評価) 利用者に精神的な圧迫感を与えないよう、日中は玄関に施錠していない。職員は利用者一人ひとりを見守る姿勢を大切にしており、安全な支援に心がけている。玄関のチャイムで外出を把握できるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 居室で過ごされている時間は、不快感を与えない程度に適宜訪室し、プライバシーに配慮し様子観察を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 本人の状態を観察しながら、身の回りの環境整備に努めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じた、事故防止対策について、職員間で話し合い取り組んでいるが、転倒や誤薬については完全には防げておらず。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行えていない。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回、施設全体で消防署の指導の下防災訓練を行っている。  (外部評価) 災害時のマニュアル、職員の連絡簿を作成し、事務所の目につきやすい場所に整備している。火災報知器を設置し、総合福祉施設全体に緊急連絡できる体制があり、また避難場所も確保している。災害訓練は年2回実施しており、消防署から具体的な指導を受けている。地域住民への協力の呼びかけはまだ十分とは言えない。	※	地域住民に災害時の協力を呼びかけ、訓練にも参加してもらうなどの取り組みが望まれる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時には、入所中起こり得るリスクについて説明するとともに、状態の変化に応じて家族に説明し、理解を得るようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化の早期発見に努め、発見時には細かい観察を行い、申し送ると共に、必要時には看護師・医師に報告している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服薬についてファイルを作成し、個々の一覧を確認している。また、いつでも確認できるよう職員室に保管している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄記録にて状況の把握には努めているが、下剤の使用が主で、予防の工夫や運動等の取り組みはあまりできていない。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを促しており、自立の困難な方は介助するようにしている。義歯は、夜間には預からせていただき、洗浄し清潔保持に努めている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 経口摂取量を日々観察し、個々に応じた食事形態の工夫を行っている。対応しきれない場合は、施設の管理栄養士より指導いただいている。  (外部評価) 食事及び水分摂取量を詳細に記録し、健康状態に十分配慮しながら食事支援を行っている。法人施設の栄養士に2週間に1度献立をチェックしてもらい、栄養管理にも配慮している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成し、必要な対応を行うと共に、家族を含めた外部からの訪問者についても手洗い等を呼びかけている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) マニュアルを作成、実行し、衛生管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) グループホームの玄関には、花を植えたり、ベンチを置いたりしている。また、装飾で明るく親しみやすい雰囲気 の工夫をしている。	※	ハード面でなく、ソフト面でカバーしていくことに今後は取組みたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 色やバランス等に配慮しながら、花や季節のものを飾るようにしている。  (外部評価) 居間は明るく広々としており、ソファを適所に置きゆったりと寛げる空間となっている。空調管理に配慮し、トイレ、浴室、台所も清潔である。テレビの音量も生活音として適当であり、和やかな環境づくりがなされている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気の合った利用者同士で過ごせるよう配慮したり、フロア、玄関、中庭にもソファやベンチを置き、ひとりで過ごせる空間も提供している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入所時にご家族へ説明し、使い慣れたものや馴染みのものを持って来て頂くようにしている。また、個々の要望やレベルに応じた配置の工夫にも努めている。  (外部評価) 各居室に洗面台が設置されている。馴染みのタンス、テレビなどを置き、また思い出の写真などを飾り、自分の部屋らしく寛いで過ごせるよう工夫している。	※	入所後しばらく経過しても働きかけていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎朝換気している。また、利用者の意見を聞きながら、こまめに温度調節も行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーで作られた建物であり、必要箇所への手すりの設置、介護用品を使用しながら自立した生活が送れるよう支援している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) コミュニケーションを十分に取り、受容と共感で接し、自立を見守り、安心して生活が送れるよう努めている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関口に花を植えたり、近くに畑を作り、水やり、草ひき等を一緒に行っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。



V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者とのコミュニケーションやカンファレンスを通して、思いや希望などについて情報交換や話し合いが十分に行えているため。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者も比較的落ち着かれており、職員も合わせることで自然とゆったりと過ごすことができる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	決め事をほとんど作っておらず、一人ひとりのペースを守るようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ある程度、利用者個々の支援方法や接し方を理解できており、自然な表情や笑顔もよく見られるため。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望されることは少ないが、お誘いし出かけられると、皆喜ばれているため。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安があった場合には、ご家族、主治医に連絡し迅速に対応している。また、不安が和らぐよう理解を示し、適切、丁寧な声かけを行うよう努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご家族等とも相談しながら、適宜対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに ④ ほとんどない	来ないため。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、活き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	特に不安を訴えるような行動や混乱などは見られず、穏やかに過ごされているため。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	「おまかせします。」との返答が多いため。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ホームは、山や海、田畑に囲まれた自然豊かな土地にあり、ホーム外に一步出ると、新鮮な空気や自然の香り、季節感などを楽しむことができる。また、農業に馴染みのある方が多いことから、ホームでは、畑を作り、耕すところから、種まきや苗植え、水やりを利用者の方と共に行ったり、収穫したものを調理し、食卓にお出ししたり、例えば、秋なら掘りおこしたさつまいもをその場で焼きいもにし召し上がって頂くなど。それ以外にも景色を眺めながらおやつを楽しんで頂く、散歩をしながら季節の花々と触れ合う、など。自然に恵まれたホームだからこそ味わえる体感をして頂くことで、身体のケアだけでなく、心のケアにも力を入れている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム森の園

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)  
氏名 柳澤 勘一郎

評価完了日 平成 20 年 10 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 施設の基本理念を基に、職員全員でグループホームの理念を作成した。  (外部評価) 全職員が理念について検討し、管理者が集約して作成している。書類等に明示し、利用者及び家族にも説明している。玄関に理念を掲げており、職員は常に意識し、また来訪者にも理解を得ることができている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念の共有の為、毎日見る日誌に閉じて目に付くようにしている。実践については理念に基づいた個人目標を立てて取り組む様になっている。  (外部評価) 毎月の会議や日々の話し合いの際に理念を確認し合い、常に理念を振り返りながらケアに活かすよう努めている。	※	日々のケアやカンファレンスの中でも、理念に基づいた取り組みを意識し行っていく。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) パンフレットに明記し、入所時、見学時に説明すると共に、玄関に掲示している。運営推進会議を活用し、地域の方や家族に理解していただけるよう説明した。	※	浸透するよう今後も取り組みを行う。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 周囲は畑が多く難しい所はあるが、畑仕事をされている方にあいさつを行ったりしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 幼稚園、保育所、小学校との交流、納涼祭へのお誘い等で地域との交流を図らせていただいている。又祭りや、運動会にも参加させて頂いている。  (外部評価) 運営法人として自治会に入会しており、地方祭には神輿が立ち寄ってくれ、夏祭りや地区の運動会にも参加しており、踊りや子ども太鼓、大正琴等、地域のボランティアなども受け入れている。また幼稚園児の訪問、中学生の体験学習なども受け入れている。	※	今後も地域の方との交流を図れるよう努めていきたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 相談には応じるようにしているが、取り組みは現在行っていない。	※	できる事があれば検討していく。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の結果をミーティングで共有し、改善策について話し合う様にしている。  (外部評価) 自己評価は各ユニット代表者2名ずつが作成し、全員で検討して作成している。「職員の休憩時間の取り方の工夫」など、数点の課題が挙げられ、具体的な改善策に取り組むまでには至っていないが、ミーティング時に検討を続けている。前回の外部評価では「ホーム独自の理念の作成」と「自治会への入会」を課題として挙げられたが、改善に取り組んでいる。	※	自己評価の課題に関しては全職員が話し合い、改善に積極的に取り組み、サービスの質の確保に努めることが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価) 活動状況報告や、評価の結果、その後の取り組み等を説 明し意見を頂いている。取り組めることは実施しサー ビスの向上に努めている。	※	開催日時の検討を行い、可能な限り参加人数が増えるよ う努める。
			(外部評価) 3か月に1度開催して、意見を十分聞き取るよう努め、 わかりやすい会議録にまとめて日々のケアの改善につな げるよう取り組んでいる。近隣住民の出席がなく、災害 時の協力依頼などにもまだ十分な取り組みが行われてい ない。	※	さらに有意義な会議となるよう、近隣住民、警察、消防 署等にも時折出席を依頼し、ホームへの理解を深め、協 力体制を築いていく取り組みを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価) 伊予市グループホーム連絡協議会に参加し、意見交換等 実施しサービスの向上に努めている。		
			(外部評価) 運営推進会議への出席依頼のために出向いた際に、市担 当者に要望なども伝え、必要な情報交換を行っている。 また、必要に応じて問題解決について話し合っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部の研修に参加し学ぶ機会は持っているが、今のと ころ当ホームでは、該当者がおらず、活用例はない。	※	職員の学ぶ機会を作り、必要時活用できるようにする。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部の研修に参加し、定期的に学びながら確認してい る。職員間で注意もしており、施設長よりいつもご指導 いただいている。	※	学ぶ機会を作り、職員の意識を高めていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、契約書に添って説明。不安や、要望、疑問点などを聞き理解納得して頂けるようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常生活の中に意見、要望、不満、苦情の訴えがあれば職員で話し合い運営に反映させている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時には暮らしぶりを報告している。また体調の変化等あればその都度、連絡、報告に努めている。  (外部評価) 総合福祉施設全体で「便り」を作成しており、その中でホームの様子を知らせている。生活状態に関しては家族の来訪時に説明したり、電話で連絡を取り合っている。金銭管理について、金銭出納簿は作成していないが、領収書を確認してもらうことで家族には了承を得ている。	※	金銭管理面に関しては、さらに家族との信頼関係を得るためにも、金銭出納簿を作成し、レシートを添えて家族の了承を得た上でサインをもらうなどの工夫を検討していくことを期待したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入所時に不満や、苦情の受付窓口を説明している。ケアプランについての説明時にも意見や要望をお聞きするようにしている。  (外部評価) 家族の来訪時には声をかけ、要望や相談などを聞いている。相談箱を置き、またホーム内及び外部機関の相談窓口を明示し、説明している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のミーティングや日々の業務の中で聞き、必要時に話し合いを行っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要な状況であればシフトの変更、調整を行い対応している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職者があるのが現状であるものの、新規職員に対しては早く利用者、業務に慣れるように配慮している。  (外部評価) 離職者がある場合は職員同士でカバーしあい、利用者の戸惑いがないよう十分配慮している。新入職員がある場合は、利用者が職員に馴染めるまで重複勤務をするなど、ダメージが最小限になるよう工夫している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 各個人の力量、経験に応じて各研修を受講させ、内容についてはミーティングや資料を通じて、他職員へ情報の共有を図るようしている。  (外部評価) 法人内研修として感染症予防講習などに参加している。外部研修は、入浴、介護技術、認知症介護等の各研修を受講している。受講後は報告書をまとめ、ケアに活かせるよう工夫している。研修によってはミーティングで伝達講習している。	※	外部・内部研修を通し、知識・技術の向上を図る。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 伊予市グループホーム連絡協議会に参加し、意見交換等実施しサービスの向上に努めている。		
			(外部評価) 現在は同業者との実践的な交流や連携は十分行えているとは言えないが、今年4月までは市グループホーム連絡協議会に参加し、同業者との学習会や交流を行っている。	※	見学や、研修を通しての交流を積極的に行い、他のグループホームの実践や経験を日々のケアに活かしていく取り組みを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 勤務希望の受け入れや、体調の変化等については特に無理の無い勤務体制を作っている。	※	休憩時間の取り方の工夫をしていく
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 年に二回個々での自己評価を行い、目標、実績等について話す機会を作っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 必ず入所前には本人にお会いし、お話しを伺うようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 不安、要望を表出しやすい雰囲気を作ると共に、訪問のみでなく電話等でも相談可能であることを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 適切なサービスが受けられるようその時の状態の把握に努め、アドバイス出来るようにしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入院中であつたり難しい場面もあるが、可能な限り見学にきて頂いている。情報を得た場合にはなるべく早く馴染んで頂けるようにしている。  (外部評価) 入居希望者には家族に来訪してもらって本人の様子を聞き取り、ホームの生活の様子を具体的に説明するなどして、納得の上で入居してもらっている。入居後はホームの生活に徐々に慣れてもらえるよう、十分配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 畑での野菜作り、収穫や料理の事などを教えて頂いたり、手伝って頂いている。一人一人の個性を大切にしたい関わりを心掛け、なるべく一緒に過ごすようにしている。  (外部評価) 生活機能に応じて食事の手伝い、洗濯物たたみ、畑仕事、掃除などを共に行い、多くの出番を設けて喜びを分かち合っている。また、過去の思い出話を聞いたり、料理の知恵などを教わっている。	※	一人ひとりの出来る事や本人の持っている力を引き出す働きかけを、継続して行っていく。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 情報を共有し、必要時には話し合いを行い協力して頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会や、外出には特に決め事はつくり、いつでも自由にして頂いている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会や、外出には特に決め事はつくり、いつでも自由にして頂いている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合わない方もおられるが、座席の配慮などを行っている。特に食事時などテーブル内で利用者同士支えあう様子も見えている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院、施設移動時には各個人で面会に行かせて頂いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 思いや、希望の把握に努めているが困難な事も多い。本人本位になるよう検討を重ねて行く様にしている。  (外部評価) 声かけを大切にしながら、本人の好みや希望の把握に努めている。本人の思いを把握することが困難な場合は、表情や行動から読み取ったり、家族から情報を得るなどして、本人の気持ちを大切に支援を行っている。	※	把握に努めているが更なる努力を行い、情報の共有に努める。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時や入所後に、ご家族より情報提供して頂き、把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々一人一人の観察を行い、状態を把握するよう努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人はもちろん、ご家族にも介護計画の要望や意見を聞く様になっている。また職員全員の意見や考えを聞き、計画にいかすようにしている。  (外部評価) 利用者の日々の生活記録を参考に、全職員で生活の様子や健康状態を話し合い、家族の意見や要望なども取り入れ、さらに主治医とも相談しながら介護計画を作成している。入居の際には家族や本人の意見を聞き取り、1か月程度の暫定的な計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 1ヶ月毎に評価を行い、実施期間が終了する前にカンファレンスを行い見直しを行っている。状況に変化があった場合にはその都度話し合い変更している。  (外部評価) 家族や主治医と相談を行い、実情に応じたケアにつなげるよう、3か月に1度の見直しを行っている。また状況変化に応じて臨機応変に見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) なるべく誰が、どのようにといった具体的な援助について、又利用者の動作、言動など様子について記入するよう心掛けている。	※	今後のケアや介護計画に活かせるような記録になるよう心掛けていく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) レクリエーションに使用する器具、デイサービスの浴場、看護師・管理栄養士の協力。  (外部評価) 利用者の希望に応じて散歩や買い物、理美容、入浴の支援等を行い、葬儀にも付き添っている。地域や同法人内の行事などには、利用者の状況や希望に合わせて参加できるように、柔軟に支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 学生の職場体験、ボランティアの受け入れや、消防訓練等で接して頂いている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望があれば協力している。特に病院関係が多い。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議等で意見を頂いたり、利用者を紹介して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所時にかかりつけ医については家族の希望を聞き決めているが、利用中に状態等変化があれば、家族と相談し変更するなど対応している。受診時には必要に応じて情報提供している。  (外部評価) 協力医療機関と連携を密に取り、適切な指示を得ている。また、協力医療機関から往診が毎週あり、毎年健康診断を受けるなど、健康面について十分配慮している。感染症予防委員会を設け、感染予防についても十分な対応をしている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要に応じて家族に相談し専門医の受診、治療が受けられるようにしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員が利用者を見守り体調の変化に応じて対応する様になっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 都度連絡を取り、見舞いや、電話連絡を行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 方針は説明し、共有しているものの重度化した場合には他施設に移って頂いている。  (外部評価) 現在は看取りケアの必要な状況はないが、今後、看取りケアに取り組む場合の様々な問題点を十分話し合い、家族、職員、医師が検討して対応の共有を図っていく方針である。	※	入所時に方針は説明しているが、状態の変化に応じて早めに、ご家族・かかりつけ医師と話し合いを持つ。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) できる事を見極めながら、連絡、相談、報告を各関係者と相談し取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 特に入居時には馴染みのものを持参していただくようお願いしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個々の人格を尊重し、プライバシーに配慮した声かけや対応を行っている。記録等外部の方に見ていただく場合は、確認を取り、必要時には同意書を頂いている。  (外部評価) プライバシーの尊重については十分理解しており、利用者に対して、人生の先輩として言葉かけや支援にも尊敬の念をもって接している。職員全員が個人情報保護法の理解に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 買い物や、理美容、外出等は事前に利用者へお知らせし本人の意思を大事にしている。	※	自分の意思を表現できる様に働きかけなどの工夫を行う。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 決め事は、掃除、衛生環境整備、計画的な行事で他は特に決めず様子を見たり、要望を聞き対処している。  (外部評価) 入浴、散歩、畑仕事、体操、カラオケ、百人一首など、その日の一人ひとりの気持ちや体調に配慮しながら、柔軟に支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 訪問で来て頂ける業者が2業者あり。居室でして頂ける業者もあり喜ばれている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 畑でできた野菜の料理。テーブル拭きや配膳などできる事は、手伝って頂くようにしている。  (外部評価) 体調や力、希望に応じて準備や片づけなどを一緒に行っている。介助の必要な利用者には側に座り、語りかけながらゆったりとした気分で食べられるよう配慮している。利用者の状態によっては、刻み食やお粥を用意している。また、ホームの菜園で採れた野菜を調理することで、食卓は一層楽しみを増している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 特に制限はしていないが、現在は居室にテレビや、おやつを置く程度。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) トイレ誘導に対しては決まった時間ではなく、利用者に応じて日々の観察の中から、排泄のパターンを探り各々に対して声掛け、誘導で個別の対応をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 基本的に午後からを入浴の時間としているが、利用者に応じてタイミングをはかり支援している。  (外部評価) 基本的に3日に1度の入浴支援を行っている。各人の希望する時間帯に応じて支援しており、毎日入浴を楽しんでいる方もいる。入浴を嫌がる利用者には言葉かけや対応を工夫しながら入浴を支援している。必要な利用者には足浴、清拭等も行っている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 本人の訴えや表情、行動などから気持ちよく眠れる状況・環境について考え支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 畑作業、洗濯、調理など日常生活の中で各個人にあわせお手伝い頂いている。  (外部評価) 一人ひとりの好みや機能に応じて、食事の手伝い、洗濯物たたみ、掃除、畑仕事などの出番を多く提供し、やりがいと喜びを感じ取ってもらっている。またカラオケ、百人一首などの得意な方には特技を楽しんでもらっている。さらに利用者は施設内の行事にも参加して楽しんでいる。	※	一人ひとりに合った役割や日々の楽しみが持てるように支援していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理出来る方についてはして頂き、できない方については少額を預かり希望に応じて使用して頂いている。	※	
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 2~3日に1度の買出しには利用者と共に出掛けるようにしている。希望があれば様子を見ていつでも行けるようにはしています。  (外部評価) なるべく散歩に出かける機会を多くもてるように配慮し、1か月ごとに外出計画を立て、市の花火大会、地区の運動会、ぶどう狩り、芋たき等に出かけ、外出先で一人ひとりリラックスしてもらい、楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 希望があればなるべく取り入れ、月毎の行事計画に入れている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望や様子を見て随時対応している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 制限なくいつでも受け入れています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ご家族にも転倒のリスクのご理解を得ながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室、玄関ともに鍵をかけないケアをしている。玄関にはチャイムがあり利用者さんが外に出られれば付き添うようにしている。  (外部評価) 利用者に精神的な圧迫感を与えないよう、日中は玄関に施錠していない。職員は利用者一人ひとりを見守る姿勢を大切にしており、安全な支援に心がけている。玄関のチャイムで外出を把握できるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) スタッフは利用者を見守りしやすい場所で作業、業務を行っている。居室で過ごされている時は適宜、所在確認・安全確認を行うようにしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 入所者さんの状況に応じて対応するようにしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態の変化に応じて、その都度対応を話し合い、事故防止に努めている。	※	常にリスクを頭に置き、危険と思われる事は職員同士で声を掛け合い、話し合い事故防止に努める。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行えていない。急変時や事故発生時には看護師の指示を仰いでいる。	※	すべての職員が対応できるよう講習を行う
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回施設全体で防火訓練を行っている。  (外部評価) 災害時のマニュアル、職員の連絡簿を作成し、事務所の目につきやすい場所に整備している。火災報知器を設置し、総合福祉施設全体に緊急連絡できる体制があり、また避難場所も確保している。災害訓練は年2回実施しており、消防署から具体的な指導を受けている。地域住民への協力の呼びかけはまだ十分とは言えない。	※	地域住民に災害時の協力を呼びかけ、訓練にも参加してもらうなどの取り組みが望まれる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 利用開始時には入所中起こりえるリスクについて説明するとともに、状態の変化に応じて家族に説明し理解を得るようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々の細かい観察で、小さい変化についても申し送り、必要時には看護師、主治医に報告している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全員の内服薬一覧表を作成しており、いつでも確認できるようにしている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の原因や及ぼす環境は理解しているが、下剤に頼っている部分はある。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き、義歯洗浄は各個人で、個別に対応している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立作成後、施設の管理栄養士に確認、アドバイスを頂いている。個別での食事形態にも配慮している。  (外部評価) 食事及び水分摂取量を詳細に記録し、健康状態に十分配慮しながら食事支援を行っている。法人施設の栄養士に2週間に1度献立をチェックしてもらい、栄養管理にも配慮している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染予防マニュアルに添って対応している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) マニュアルに添った衛生管理を行い、食中毒予防にも努めている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 総合施設の大きな建物の中であり、玄関は建物の裏側である為では入りしやすい状況とはいえないが、花を植えたりベンチを置いている。	※	ハード面でなく、ソフト面でカバーしていくことに今後は取り組みたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者さんの写真を貼ったり、季節感の感じられるものを飾っている。  (外部評価) 居間は明るく広々としており、ソファを適所に置きゆったりと寛げる空間となっている。空調管理に配慮し、トイレ、浴室、台所も清潔である。テレビの音量も生活音として適当であり、和やかな環境づくりがなされている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロア、玄関、中庭等に、ソファやベンチを置き自由に過ごせる様にしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居心地の良いその人らしい居室になるようご家族にお願いしているが、なじみの物は少ないのが現状である。  (外部評価) 各居室に洗面台が設置されている。馴染みのタンス、テレビなどを置き、また思い出の写真などを飾り、自分の部屋らしく寛いで過ごせるよう工夫している。	※	なじみの物や使い慣れた物を持ってきて頂く様引き続き働きかけていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は適宜行っている。温度調節に関しては快適に過ごして頂けるよう配慮すると共に、特に居室については個人の要望に合わせて調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーになっており手すり等も設置している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人一人の混乱や失敗をアセスメントしながら考えられる原因誘因があればそれに対する工夫を行うようにしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 畑や玄関の花の水遣り、草引き等一緒に行っている。利用者さんは畑での収穫を楽しまれている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いや願いはカンファレンスで共有するようにしているが、うまく表出できない方もおられ把握が難しいこともある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	同じソファやテーブルで過ごしたり、昼食を一緒に食べたりとゆったり和やかに過ごす時間がある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	制限することなく、一人ひとりのペースで過ごして頂いているが、思いの表出の難しい方には本人の表情や状態に合わせた声かけや支援を行っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員との関わりで笑顔や穏やかな表情が見られることが多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	数名は、自動ドアより自分の希望時に外に散歩に出かけられているが、外出の希望はあまりない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安がある場合は主治医・ご家族と連絡を取るようになっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望通りは難しいこともあるが、ご家族とも相談しながら適宜対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) 2 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	要望等お聞きするようになっている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 3 たまに ④ ほとんどない	ほとんど来られない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	会議に出席して下さった方は、グループホームについて理解を深めて下さっている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	すべての要望に対応する事は難しいため。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) ③ 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

基本的には理念を日々のケアに生かすよう取り組んでいる。利用者の昔を思い考えさせて頂き、ここに至るまでの生活を考えさせて頂き、現在の思い、今後の暮らしを考えさせて頂きながら毎日を新鮮に暮らして頂くよう支援に努めている。何か問題を抱えた場合には上記の事に振り返り各個人、また職員で話し合い色々な事を試している。安全面を考慮した上で決め事は作らず施設内の空間は自由に使って頂き、各個人の方に少しでも満足頂くよう、日常生活の中での掃除、炊事、洗濯、買い物、外出等と各利用者の欲求を満たすべく、出来る事を気持ちよくして頂く為に日々取り組んでいます。